

本書の構成

第1部 子どもの村の「今」

- 授業風景 1 ジャンボすべり台をつくる
- 授業風景 2 子どもの村のババ抜き
- 授業風景 3 文法用語はご法度（英語）
- 子どもも校長も同じ一票 自由学校はミーティングの多い学校
- もっと遠く、もっと欲張って 手づくりの修学旅行
- 一人ひとりがみんなと自由に 子どもの村の子どもたち
- 教師も自由だ 子どもの村の大人たち



第2部 子どもの村のDNA

- 「為すことによって学ぶ」 ジョン・デューイと「活動的な仕事」
- まず子どもを幸福にしよう A.S.ニイルと「世界でいちばん自由な学校」
- 頑固一徹の自由教育家 ジョン・エッケンヘッドと「共に生きる学校」
- 自由な子ども 感情と知性と人間関係と
- 「プロジェクト」が中心 ホンモノの仕事が子どもを育てる

第3部 子どもの村の二十年

- 長い道のり 開校までの七年半
- 初心を忘れない 小さな妥協がやがて命取り
- 二〇年ひと昔 波紋は広がったか
- あわてず、あせらず、あきらめず 学校づくりを始める人のために



著者

堀 真一郎 (ほりしんいちろう)

福井県勝山市生まれ。元大阪市立大学教授。1994年から子どもの村学園の学園長。著書に『ニイルと自由な子どもたち』『自由学校の設計』など。

問い合わせ先

学校法人きのくに子どもの村学園

〒648-0035 和歌山県橋本市彦谷 51

☎0736-33-3370 Email: info@kinokuni.ac.jp

株式会社 黎明書房

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-6-27 EBSビル

☎052-962-3045 Email: reimei@mui.biglobe.ne.jp

学校法人きのくに子どもの村学園
堀 真一郎 著

きのくに の教育 子どもの 村

体験学習中心の自由学校の20年



2013年6月25日発売
定価 2700 円

黎明書房

世の学校教育には、さまざまな常識がまかり通っている。

- ・教育は教室でおこなわれる。
- ・教授とは知識の伝達である。
- ・学習とは教科書をマスターすることだ。
- ・子どもは年齢によってグルーピングされる。
- ・学校は、どの子にも同じ教育をする。
- ・教育内容の詳細は国が決める。
- ・教師は指導し、子どもは従う。
- ・教師は「先生」と呼ばれる。
- ・教師には教師としての権威が必要だ……などなど

きのくに子どもの村は、このような疑う余地がないと思われている学校教育の常識を問い合わせ直そうとして生まれた学園である。キザないい方をすれば、学校教育の見直しと改革に小さな一石を投じたい。そのように願うごく少数の者が苦労してスタートさせた学びの場である。

それから二十年余り、この試みはいくばくかの成果をおさめただろうか。

子どもたちは、楽しくて充実した生活ができるだろうか。

波紋は、少しは広がっただろうか。（「まえがき」）